

こども未来館まち空間リニューアル整備方針

1. まち空間のコンセプト

- 体験的な活動や人々とのふれあいを通じて、子どもたち自身がまちづくりや地域の文化をやる。
- 子どもたちが主役となって活動できる機能として、まち体験と遊びの空間を提供
- 子どもたちにとって身近なまちをさぐり、モノの見方を身につけることができるまち体験を展開
- 大型遊具での遊びや様々なものづくりなど、人とのふれあいを通じた創造的な遊びを自由に体験することにより、子どもたちの豊かな情操や社会性を育む。
- 子どもたちが普段接している家庭や学校、地域での活動では体験できないこれらの自分体験を通して、自分にとっての夢のたまご（自分のやりたいこと、将来の夢・目標）を見つける。

2. 既存施設の基本事項

- (1) 整備年月日 平成 19 年 6 月 15 日から平成 20 年 5 月 30 日
- (2) 延床面積 約 1,000 m²
- (3) ターゲット年齢層 4～10 歳程度
- (4) 年間利用者数 約 28 万人（コロナ禍以前）
- (5) 主な機能

- 体験セット（工作体験キット）
- ドリームタウン（5つの体験ブース）
- ジャングルタワー（小学生向け大型遊具）
- キッズパーク（未就学児向けの遊び場）
- 市電（実物の路面電車）
- メディア工房（映像体験の場）
- とよはし100年歴史通り（昔の豊橋のまちの絵）
- 昔の家（昭和時代の家）

3. リニューアル整備方針

(1) 基本方針

- ①既存施設のコンセプト、ターゲット年齢層を継承する。
- ②年齢に応じた遊びや体験を提供する。
- ③既存の機能を効果的に活用する。
- ④実体験を重視しつつ、デジタル技術等を効果的に活用する。
- ⑤子どもの見守りの視点から見通しに配慮する。
- ⑥効率的な空間利用のための工夫をする。（汎用性）
- ⑦多様な利用者への配慮をする。

(2) 方向性

I～Ⅲの考え方のもと、以下の方向性に則した改修を行う。

I 遊びや社会体験等を通じた学びの充実

夢ややりたいことの発見へのニーズや社会の疑似体験の必要性から、遊びや社会体験等を通じた学びを充実する。

【方向性】

- より現実に近い体験機能や仮想のまちを体感できる仕組みなどを導入する。(社会の疑似体験の充実)
- 主体性を重視するとともに、五感の活用や人との交流など、子どもたちの視野が広がる遊びや体験を充実する。(多様な遊びや体験の充実)
- 様々な分野の地元企業等との連携や豊橋の愛着形成につながる体験機能を導入する。(地域連携による体験の充実)

II 年齢に応じた遊びや体験内容の充実

ターゲットとする全ての年齢層の満足度を高めるため、各年齢層に応じた遊びや体験内容を充実し、バランス良く配置する。

【方向性】

- 小学3、4年生向け体験の充実とともに、成果の発表や発信ができる機能を導入する。(高年齢層向けの体験の充実)
- 公平な利用のため、各年齢層を対象とした体験を質・量・場所の視点からバランス良く配置する。(各年齢層を対象とした体験をバランス良く配置)
- 様々な年代と交流できる体験を充実するとともに、その機能を効果的に高めるための配置をする。(幅広い年齢層を対象とした体験の充実)

III リピーター確保に向けた飽きさせない、遊びやすい工夫

「目新しさが無い、飽きやすい」と感じている利用者が多いことから、リピーター確保に向けた飽きさせない、遊びやすい工夫をする。

【方向性】

- 展示や体験機能の定期的な変更や用途に応じたレイアウト変更に対応できる環境を整える。(目新しさ、新鮮さの確保)
- ICT等を活用するなど、何度でも利用したくなる工夫をする。(来館の動機の仕掛けづくり)
- 子どもたちや保護者の様々な場面や状況を想定したゾーニングや空間利用とする。(遊びやすい、遊ばせやすい工夫)

(3) 空間利用、ゾーニングの方針

上記の方向性で示した改修のため、空間利用とゾーニングの方針を次のとおりとする。

①空間利用

- ・子どもの見守りの視点から見通しに配慮する。
- ・対象年齢毎にバランス良く配置するとともに、幅広い年齢層が一緒に遊べる空間を新設する。
- ・パーティションの可動式化やデジタル技術の活用によりスペースを有効的に利用する。
- ・車いすの動線や専用スペースなど、障がい者等の多様な利用者へ配慮する。

②ゾーニング

次の3つのゾーニングを基本とする。

- A みんなで遊べるゾーン 未就学児～小学3－4年まで幅広い年齢層を対象とする。
- B リアル体験ゾーン 各年齢層ごとの社会の疑似体験を充実する。
- C アクティブゾーン 年齢に応じて安全に体を動かすことができるものとする。

(4) 既存施設の考え方

- 体験セット 機能として残す。
- ジャングルタワー 既存のままとする。
- 市電 既存のままとする。
- とよはし100年歴史通り 廃止とする。

(5) 他の事業との関連

- 図書コーナーとの相乗効果を図る。
- ここにこ銀行を効果的に活用する。

(6) その他

- 国産木材の利用を検討する。

4. スケジュール

- ・R5年度 基本計画・基本設計委託業者を選定（公募型プロポーザル）
基本計画・基本設計の作成
- ・R6年度 実施設計・展示製作・施工

5. 想定事業費

実施設計・展示製作費(R6) 150,000千円